

安全な職場環境

当社は、協力会社の皆さまを含むすべての働く人の生命と健康を守ることを、事業活動の大前提としています。優れた建造物をつくり上げることは当社の使命であり、その過程において安全がないがしろにされることは決してあってはなりません。その認識のもと、「人命第一」を基本に据え、労働安全衛生マネジメントシステムの運用を通じて、安全で安心して働ける作業所環境

の構築に取り組んでいます。特に、各作業に潜む危険性・有害性を見逃さず、リスクアセスメントに基づいて優先度を明確にしたうえで、適切な低減対策を講じることを徹底しています。加えて、安全知識と感性の向上、安全管理の密度と質の向上を重点に推進し、協力会社の皆さまと一体となって災害の未然防止に努め、社会から信頼される現場づくりを進めてまいります。



取締役副社長執行役員
安全本部長

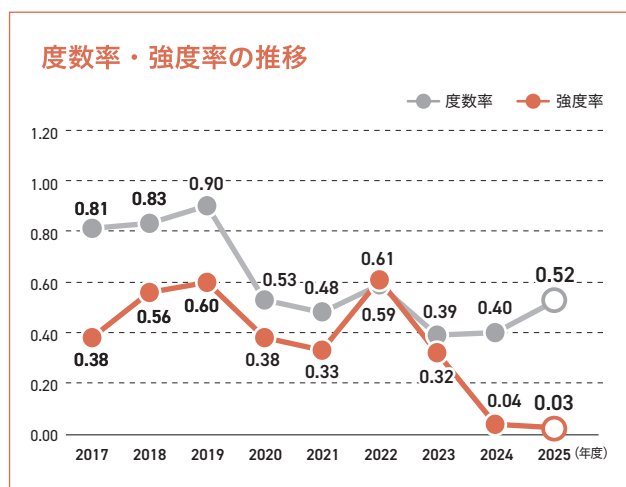
平野 徹

2025年度の活動実績

2025年度の安全衛生目標は「死亡・重篤災害“ゼロ”」「第三者災害“ゼロ”」「度数率0.35未満」でしたが、死亡・重篤災害はゼロ、第三者災害は1件、休業4日以上 の災害を対象とした度数率は0.52となり、目標を達成することはできませんでした。

※度数率＝死傷者数 / 延べ実労働時間数 × 1,000,000 ＝ (延べ労働時間 100 万時間あたりの労働災害死傷者数)

※強度率＝延べ労働損失日数 / 延べ実労働時間数 × 1,000 ＝ (延べ実労働時間 1,000 時間あたりの労働損失日数)



2026年度の目標

2026年度は全店安全衛生目標とその達成に向けた重点取り組み事項3点を下記の通り設定しました。不安全行動に起因する災害発生の防止対策により一層注力するとともに、全従業員が日々の業務の中で「安全最優先」と「業務フロー」を徹底し、災害予防と健康増進に取り組んでいきます。

2026年度 安全衛生目標

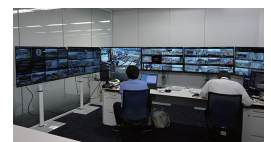
「死亡・重篤災害“ゼロ”」「第三者災害“ゼロ”」「度数率0.35未満」

2026年度 重点取り組み事項

- 職員・作業員の安全知識と感性の向上
- 安全管理の密度と質の向上
- 職員・作業員の私病、通勤時交通災害を抑止する

安全管理のDX化 遠隔監視センターの設置

全国の各作業所では、場内にWEBカメラを設置し、工事の作業状況、悪天候時の状況確認、入退場管理などの効率的な現場管理に利用しています。ブラインドになる危険警戒箇所には、移動式のWEBカメラを積極的に設置しています。2025年度は設置台数を増やし、監視を強化しました。



遠隔監視センター

本社安全部内の遠隔監視センターでは、専任の担当者を配置してカメラを設置した全作業所の映像を閲覧でき、不安全な設備や行動がないか安全管理を行っています。

安全で効率的な作業所管理の実現

» 経営トップによる安全パトロール

フジタでは「三現主義」（現地へ行き、現物を見て、現実を確認する）に基づく安全管理を実践しています。また、全国安全週間、全国労働衛生週間、建設業年末年始労働災害防止強調期間、建設業年度末労働災害防止強調週間に合わせて、全国の作業所への経営陣による朝礼または昼礼参加の「経営トップパトロール」を毎年実施しています。

また、日常の安全管理状況を確認するため、経営層および本社工事・安全部門の幹部が、事前予告なしの抜き打ち安全パトロールを継続的に実施し、常日頃から緊張感を持った手を抜くことのない安全管理の実践を図っています。



» 従業員教育・職長・安全衛生責任者教育・事業主教育

従業員の安全衛生教育については、30歳代前半までに基本的な安全衛生知識をマスターし、現場の状況に応じた確かな安全衛生管理ができる能力を身に付けるための教育体系を構築しました。この体系に沿って教育を継続しています。2024年度からは、安全本部が現場へ訪問して指導を行う若手職員出前教育の運用を開始し、2025年は延べ910名に実施しました。また、安全衛生基本教育動画を50本以上制作して社内ホームページに掲載し、教育コンテンツとして活用を開始しています。経営層、本社、支店などが実施する安全パトロールでは若手従業員が同行し、より実践的なOJTをともなう安全教育にも取り組んでいます。また、現場に配属される従業員を対象に、等級別のe-ラーニングを実施しています。

協力会社の職長に対しては、職長・安全衛生責任者教育の初任者コース（2日間）、能力向上コース（1日間）を実施しました。2026年度も継続して実施していきます。

災害防止は元請会社と協力会社が丸ごとになって取り組むことで成し遂げることができます。全国の各拠点で協力会社と意見交換を行うとともに、事業主を対象とした安全教育も継続して実施していきます。

● 2025年度 安全管理に関する研修実績

	圧倒的教育	新入社員教育	若手職員出前教育	職長・安全責任者教育 (初任者コース)	職長・安全責任者教育 (能力向上コース)	事業主研修
延べ受講者数	585 人	120 人	910 人	81 人	127 人	1,666 人
延べ研修時間	2,048 時間	840 時間	910 時間	1,134 時間	724 時間	3,332 時間
一人あたり時間	3.5 時間 / 人	7 時間 / 人	1.0 時間 / 人	14.0 時間 / 人	5.7 時間 / 人	2.0 時間 / 人

TOPICS まぶたの家族運動

当社は、すべての作業所において「まぶたの家族運動」を行っています。まぶたの家族運動はかけがえのない家族に悲しい思いをさせないために、安全で確実な作業を行い、無事に家族のもとに帰ることを瞑想し誓うことで、安全意識を高めるための運動です。



「まぶたの家族」運動紹介動画